

# 第7回

トピックス

# 臨床研究啓発セミナー

2026年 5月 28日 (木) 17:00~18:00

開催形式 現地参加とWeb (Zoom) とのハイブリット開催 (参加費無料)

会場 TWIns 2階 イノベーション推進室

対象 研究者、学生、大学院生、医療従事者等

開会挨拶 瀬尾 幸子 血液内科 教授・基幹分野長

講演 未来の医療に向けたバイオバンク・ジャパンの取り組み

松田 浩一 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授/  
バイオバンク・ジャパン代表

閉会挨拶 蔭池 勇太 研究推進センター長

## 講演内容

バイオバンク・ジャパン(BBJ)は、2003年に東京大学医科学研究所を中核として構築された、日本最大級の疾患バイオバンクであり、国内12医療機関と連携し、51疾患・約27万人に及ぶ大規模な臨床情報と生体試料を集積してきた。SNPアレイや全ゲノムシーケンス(WGS)、メタボローム、プロテオームといった多層オミクス解析を統合的に展開することで、疾患感受性や薬剤応答、副作用発現に関わる分子基盤の解明を先導してきた。

現在進行中の第5期では、電子カルテ情報を活用した大規模かつ高精度な臨床データ基盤の構築と追跡調査を推進するとともに、Web審査による迅速な試料・情報提供体制を実現し、研究者が即時に活用可能な環境を整備している。さらに、NBDCやCANNDsを通じたデータ公開に加え、統合データパッケージの提供により、多層オミクスと臨床情報を横断的に活用できる世界水準の研究基盤へと進化している。

今後は国内バイオバンク・コホートとの連携を加速し、100万人規模のゲノム研究基盤を構築することで、日本人に最適化されたゲノム医療と次世代創薬の実現を目指す。本セミナーでは、BBJデータの具体的な利用方法、これまでの代表的研究成果、さらに医療実装に向けた最前線の取り組みについて紹介する。

## 講演者略歴

1994年、東京大学医学部医学科卒業、整形外科医として臨床研修を開始。2003年、東京大学大学院医学系研究科修了。米国ペイラー医科大学にて博士研究員として骨代謝関連分子の研究に従事。2004年、東京大学医科学研究所に着任し、ヒトゲノム解析・がんの分子メカニズム研究に従事。2009年、同研究所准教授として大規模バイオリソースを用いた疾患感受性遺伝子研究を担当。2015年、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授に就任し、バイオバンク・ジャパンの運営を担当。2023年、バイオバンク・ジャパン代表に就任し、日本最大級のバイオバンクを統括。

## 参加申込 \*要事前申込

参加のお申し込みは下記URLまたはQRコードよりお願いいたします。

<https://forms.gle/k2GnJYNnmiBicrZm7>



【お問合せ先】研究推進センター 佐々木(26659)・佐藤  
E-mail: [kodoiryojinzai.bm@twmu.ac.jp](mailto:kodoiryojinzai.bm@twmu.ac.jp)